

やさしく読める英語ニュース（聞き取り問題）

えいごネットの「やさしく読める英語ニュース」の音声ファイルを聞いて、下の空欄の単語を聞き取る練習をしてみましょう。

Japanese group to study growing food on moon

One day, workers on the moon may be growing their own food, (1) to Japanese (2).

The Japanese government is (3) with private companies to help grow indoor (4) on the moon.

The research will be (5) by Space Foodsphere, a food research group (6) in Tokyo.

The aim of the research is to provide food for a large number of people working on the moon for an (7) period.

<ヒント>

- (1) 決まり文句なので、直後の to とセットで覚えてしまおう。
- (2) スペルに注意！
- (3) 政府と民間企業が協力してのプロジェクトである。
- (4) これを月で育てる時代が来ているのですね。
- (5) Space Foodsphere が舵取りを行うとのこと。
- (6) 空欄直後の前置詞が in か on で意味が違うので分けて覚えよう。
- (7) 今回のプロジェクトは、月で長期間研究・調査を行う人々のためのもの。

やさしく読める英語ニュース（聞き取り問題）解答編

<解答>

- (1) thanks **名** thanks to～ 「～のおかげで、～の結果」。必ず thanks と s がつく点に注意。
- (2) research **名** 研究、探求、リサーチ。
- (3) joining **動** 「加わる、参加する」。ここでの is joining は、進行形ではなく、未来を表す be+動詞 ing 形。
- (4) crops **名** (農) 作物。
- (5) led **動** lead の過去分詞形。「導く、先導する」。活用形は lead-led-led。
- (6) based **動** 「～に拠点を置く、～(の)本拠地を作る」。base は名詞として登場することが多い語であるが、動詞としての働きも覚えよう。
「based in～ ～に拠点(本社)を置く」「based on～ ～に基づいて」
- (7) extended **形** 延長された、延ばされた。

<ニュース解説（英文の和訳ではありません）>

Space Foodsphere（スペースフードスフィア）

宇宙航空研究開発機構（JAXA）やベンチャーキャピタルのリアルテックホールディングスなどが 2020 年 4 月に設立した一般社団法人。「持続可能な未来社会の実現に貢献する」ことをめざし、食品やロボティクスの関連企業や研究者、シェフなど 40 超の組織と連携し、極限の環境と言える宇宙での食料生産技術などを確立することで、宇宙と地球双方の課題解決を図る。「2040 年代に月面基地 1000 人居住」「2100 年にテラフォーミング技術確立と系外惑星への旅立ち」といった野心的な目標を掲げている。

人類史上初の月面着陸は、1969 年 7 月 20 日、アポロ 11 号（ニール・アームストロング船長）によるものであった。あれから 50 年以上が経過し、今や食物栽培を行うことが計画される時代となった。火星への探査や移住計画など、人類の宇宙への探求は尽きない。いろいろな星と自由に行き来できる時代が訪れるのも遠い未来の話ではないのかも！？